

一三〇六番

この山やまの 黄葉もみぢの下したの 花はなを我あれ はつはつに見みて
なほ恋こひにけり

一三〇七番

この川かはゆ 舟ふねは行くべく ありといへど 渡わたり瀬ぜ
ごとに 守まもる人ひとあり

一三〇八番

大おほき海うみを さもらふ水門みなと 事ことしあらば いづへゆ
君きみは 我わを率るしのがむ

一三〇九番

風吹かぜふきて 海うみは荒あるとも 明日あすと言いはば 久ひさしく
あるべし 君きみがまにまに